

# サツマイモで考える6次産業化



日時 **平成28年2月3日(水)**  
午後1時半～4時

会場 **千葉県教育会館 604会議室**  
千葉市中央区中央4-13-10 電話:043-227-6141

●募集人員：**60名** ●参加費：**無料**

千葉県の主要農産物の一つであるサツマイモは、これまで青果用として生産・販売されてきましたが、最近ではスイーツ等の用途が広がり、6次産業化の素材として用いられる事例も増加してきています。

そこで当サポートセンターでは、6次産業化におけるサツマイモの活用をテーマとして、下記のように交流会を企画しました。今後のサツマイモ利用を考えるうえで有益な示唆が得られることと思いますので、皆様の参加をお待ちしております。なお、交流会では講演とともに、講演で取り上げられる商品を囲んで交流する場も設けます。

参加を希望される方は、**1月末日**までに裏面の申込書に必要事項を記入し、ファックスにてお申し込みください。

## 交流会次第



講演

### 「白ハトグループのサツマイモ活用戦略」

白ハトグループ 代表取締役社長 **永尾 俊一 氏**

平成27年10月に、サツマイモのテーマパーク「なめがたファーマーズヴィレッジ」をオープンさせて注目を集めた白ハトグループの代表が、サツマイモを素材としたスイーツ商品の開発等、「食べるサツマイモ日本一」の食品メーカーを目指す取組について縦横に語ります。



事例紹介

### 「多古町で進むサツマイモ利用の取組」

多古町産業経済課  
富士正食品(株)  
(有)土井清商店

### 「農家の女性三人がサツマイモ加工で起業」(株)いっぷく堂



交流

### 商品を囲んで交流(商品の展示・試食)

